

事例番号:340098

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 32 週 4 日 切迫早産のため入院

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 33 週 0 日

7:00 陣痛開始

7:45 頃- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動の減少を伴った頻脈を認める

9:02 頃- 胎児心拍数陣痛図で軽度遅発一過性徐脈、軽度遷延一過性徐脈および反復する高度変動一過性徐脈を認める

9:45 頃- 胎児心拍数陣痛図で高度遷延一過性徐脈を認める

9:59 遷延一過性徐脈を認めたため子宮底圧迫法 2 回で児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で絨毛膜羊膜炎 stage I - II (Blanc 分類)、臍帯炎

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:33 週 0 日

(2) 出生時体重:1800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.05、BE -17.7mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 3 点

(5) 新生児蘇生:気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 早産、低出生体重児、呼吸障害

細菌培養検査で血液、鼻咽腔液に大腸菌を検出

血液検査で白血球低値、生後約 15 分 CRP 1.57mg/dL、生後 10 時間 CRP 4.06mg/dL

(7) 頭部画像所見:

生後 20 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め、前頭葉優位に皮質下白質に嚢胞変性を認める

生後 2 ヶ月 頭部 MRI で、著明な脳室拡大、白質容量の低下、脳萎縮を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 4 名、小児科医 1 名、研修医 1 名

看護スタッフ: 助産師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症により発症した低酸素性虚血性脳症、および出生後の敗血症、細菌性髄膜炎の両方と考える。

(2) 胎児低酸素・酸血症の原因は子宮内感染の可能性はある。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

(1) 妊婦中の管理は一般的である。

(2) 妊娠 32 週 4 日子宮頸管長の短縮のため切迫早産と診断し入院としたこと、および入院時の対応 (内診、超音波断層法、膣分泌物培養検査、分娩監視装置装着、子宮収縮抑制薬の投与等) はいずれも一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 32 週 5 日破水感の訴えがあった後の対応 (破水の診断、内診、超音波断

層法の実施)は一般的である。

- (2) 児の成熟化を促すことおよび頭蓋内出血や壊死性腸炎の予防目的で、妊娠 32 週 5 日と 6 日にベクタゾノリン酸エステルナトリウム注射液を投与したことは一般的である。
- (3) 妊娠 33 週 0 日に陣痛発来を認めたため、分娩監視装置を装着したこと、および胎児心拍数陣痛図上、一過性徐脈を認めると判断し、医師へ報告し診察を行ったことは、いずれも一般的である。
- (4) 陣痛発来後、子宮収縮の増強と子宮口開大の進行を認め、子宮収縮抑制薬の投与を終了したことは一般的である。
- (5) 遷延一過性徐脈を認めたため子宮底圧迫法で児を娩出したことについては、妊娠 33 週で子宮底圧迫法開始時の児頭の位置が不明のため評価できない。また、子宮底圧迫法開始時の児頭の位置について記載がないことは一般的ではない。
- (6) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (7) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生の詳細が記載されていないため評価できない。新生児蘇生の詳細が記載されていないことは一般的ではない。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

観察した事項や実施した処置に関しては、診療録に正確に記載することが望まれる。

【解説】本事例では、子宮底圧迫法開始時の児頭の位置、Apgar スコアの詳細および新生児蘇生の詳細について記載がされていなかった。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】児に重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。